

森永乳業グループ 安全衛生基本方針

森永乳業グループは、安全衛生は企業経営と企業存立の基盤であり、従業員の協力の下に安全衛生を確保することが経営者の最も重要な責務であると認識し、安全で働きやすい職場環境を確保するよう活動します。

(基本方針)

1. 安全衛生活動を従業員全員で取り組み、「安全第一」、「労災ゼロ」を目指して行動します。
2. 「決められたルールを必ず守る」風土や環境づくりを進め、安全衛生法並びに関係法令や社内規定を遵守します。
3. 心身共に働きやすい労働環境づくりを推進し、産業医と連携して定期健康診断や健康指導を行い従業員の健康づくりと健康増進を図ります。
4. 特に生産部門については以下の安全衛生活動に取り組みます。
 - ①リスクアセスメントによる潜在的な危険性や有害性の除去と低減対策の実施
 - ②定常、非定常作業における作業標準の整備と従業員への周知及びルール遵守
 - ③労働災害の情報共有による再発防止と類似災害の防止活動の推進
特に、「挟まれ巻込まれ」、「転倒」、「火傷」型事故の完全撲滅に向けた、過去の災害教訓に基づく再発防止策の実施
 - ④継続的な安全衛生水準の向上に向けた、安全衛生監査（本監査と内部監査）の実施
 - ⑤安全知識と安全意識の向上に向けた、安全衛生教育・訓練の実施
 - ⑥従業員全員による「ご安全に！」活動の推進
5. この方針は、全ての従業員に周知し社外にも公表する。

制定：2017年4月
森永乳業株式会社
代表取締役社長
大貫 陽一